

平成26年2月大雪災害に関する検証報告書



平成26年6月

長野県平成26年2月大雪災害の事後検証チーム

はじめに

平成26年2月14日(金)から15日(土)にかけての降雪は、積雪深が気象庁での観測史上第1位を県内各地で記録し、そのため高速道路、主要国道の通行止め、列車の運休などが発生し、一部の道路で大量の車両が滞留するという県民生活に大きな被害と混乱をもたらす事態が生じました。

さらに、この降雪により農林業用生産施設であるパイプハウス等の多くが倒壊・損壊するなどの甚大な被害が発生したほか、観光、物流その他の企業活動において大きな被害や影響を及ぼすこととなりました。

今回の大雪による災害により被害等にあわれた皆様方には心からお見舞いを申し上げます。県では、被害等にあわれた皆様方が今後とも事業を継続できるよう復旧支援等の対策を最優先に実施することとしております。

県として、今般の大雪被害への応急対応の結果として浮かび上がった課題について、県民からの意見や市町村さらには関係団体等からの意見を踏まえて検証することにより、それぞれの現場で何が発生しどんな手立てを必要としていたのかを分析し、大雪による災害にとどまらず今後の様々な災害への応急対応や対策を再構築するとともに、県の危機管理防災体制の強化につなげていくものとする所存で取り組んでまいりました。

この検証が万策を尽くすものであるとは到底考えておりませんが、引き続き多くの皆様からご意見を頂戴しながら、県民の生命・財産を守り、安全・安心な生活が確保できるよう努めてまいりますので、今後とも県民の皆様のご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。

平成26年6月

平成26年2月大雪災害の事後検証チーム座長

長野県副知事 和田 恭良